

フルーツとともに 甘〜い幸せをとどけます!

2010.11.24訪問



青年部員の 事業所に行つた 聞いてきました 第二十六回 シオキチさん

今回は、下本町で小見山吉朗さんが勤務されているフルーツ
ショップ「有有限会社 シオキチ」さんを訪問してきました。

(文・新藤 容至臣)



シオキチさんは創業120
年の老舗で、乾物の販売
から果物・野菜の販売へ
移行し、果物のみ販売
に移行してから30年
になります。

「オラのシフト」について教えてください

うれしいと思うことは何ですか？

お客様においしいかったと言われた時です。

「スーパーで買ったのより、シオキチさんで買った傷物の
ほうがおいしかった」と言われたこともあります。

仕事をしてつらかった事は？

急な配達、準備が多いので時間に余裕がないことです。

朝6時からの仕入れなので、仕事は出来る限り7時までには終わるよ
う心がけています。

仕事を通じて学んだ事は？

気を使って使わずに済むことは無い、注意をこらして済むことは無い
ということをもっと学びました。

生ものを扱っている性質上、商品の傷みなどにはとても注意してい
ます。

聞いてなつた ココだけの話

仕事で工夫しているところは？

少々値段が高くて味のいいものを提供できるような心がけていま
みかん一つにおいても等級が何段階もあります。等級の高い物を
必ず提供するようにしているため、お客様に喜ばれています。

お歳暮などは贈り主だけでなく、受け取り主からのリピート注文を
頂いたこともあります。

仕事がおかれている環境について

果物は食品のなかでも贅沢品なので、景気が落ち込むと売れる量が
減ってしまいます。この不況の影響もあり同業者がどんどん廃業し
ています。

しかし、冠婚葬祭など必ず必要になるところへうまくシフトチェン
ジしていき、より良いものをよりたくさんの人へ届けられるよう
がんばっています。